

令和2年度 盛岡市子ども未来基金助成事業活動報告書

事業名	アイーナみんなの学習室
事業者名	どろんこ隊☆ミライ
事業の目的 (事業を実施しようと思ったきっかけなど)	当初本事業を実施しようと思ったきっかけは、大学の講義で、学習塾を利用できない子どもや家庭の学習環境が整わない子どもがいる等、周囲の環境によって教育機会に差が生まれている実情を学んだことです。子どもとの年齢の近い大学生だからこそ、自分たちがロールモデルとなり、共に学業を本分とする同じ立場で学習をサポートできたら嬉しいと考えていました。 今もその思いは持っていますが、実際に活動を始めてからは、子どもたちがやりたいと思う勉強内容や取り組み方を尊重し、勉強以外のことでも気軽に話せたり、相談できたり、楽しみながら学習できる居場所を作りたいという気持ちを強く持って取り組んでいます。
事業の実績 (日時・場所、参加者、内容、参加者の様子など)	「アイーナみんなの学習室」 1 場所と時間 ・アイーナ7階 岩手県立大学アイーナキャンパス学習室4 (学習室2) ・開室時間 12時30分～18時 (11月7日は11時から14時30分) 2 開室日と利用者数 (延べ35名) 1, 7月4日 (土) 利用者: 4名 2, 7月11日 (土) 利用者: 1名 3, 7月18日 (土) 利用者: 7名 4, 7月25日 (土) 利用者: 1名 5, 8月1日 (土) 利用者: 1名 6, 8月8日 (土) 利用者: 1名 7, 8月29日 (土) 利用者: 3名 8, 9月12日 (土) 利用者: 5名 9, 9月26日 (土) 利用者: 7名 10, 10月10日 (土) 利用者: 3名 11, 10月24日 (土) 利用者: 1名 12, 11月7日 (土) 利用者: 1名 13, 11月14日 (土) 利用者: 0名 ※スタッフのみ (感染症対策のため閉室) 3 内容 ・学習のサポート ・お話 (勉強、学校生活、趣味等) 4 参加者の様子 ・テスト前に苦手な分野を強化する ・学校の授業でよく分からなかったところを復習する ・持参した学習教材に黙々と取り組む ・宿題を終わらせる

学習室に来室してくれる目的は様々ですが、ゆったりと、前向きに勉強に取り組んでいる様子が見受けられています。その姿にむしろスタッフの方が励まされ、勉強の合間で会話できることにも楽しませてもらっています。



5 メディア取材

- ・岩手日報（「学生運営 子ども学習室 県立大サークル、小中学生対象」7月4日）
- ・朝日新聞（「子どもの居場所、高校生や大学生が作る」7月20日）
- ・めんこいテレビ（GOOD LUCK STORY 11月8日）

その他
（課題、今後の
予定など）

- ・もっとたくさんの方に、また必要な方に利用してもらえる方法を考える
- ・利用してくれる人にとっての居心地の良い空間とは何かを考える
- ・季節に応じたレクリエーション等を企画する